



報道関係者各位

2019年12月17日

こころにスマイル 未来創造パーク
アデリーペンギン・ヒゲペンギンの赤ちゃんが誕生しました！



アデリーペンギンの親子
2019年12月15日撮影



ヒゲペンギンの親子
2019年12月15日撮影

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）で、アデリーペンギン・ヒゲペンギンの赤ちゃんが誕生しました。アデリーペンギンは、11月26日（火）～12月17日（火）の間に8羽、ヒゲペンギンは、11月30日（土）～12月15日（日）の間に7羽誕生いたしました。2種類とも産卵後両親が交代で大切に卵をあたたため、無事孵化に至りました。また、どちらの赤ちゃんも親鳥から赤ちゃんへの給餌を確認できており、順調に成長しています。海獣館2階にて子育ての様子を公開中です。現在は、7種類のペンギンの赤ちゃんを同時にご覧いただける貴重なシーズンです！

■アデリーペンギンの赤ちゃん

	誕生日	出生体重	孵化日数
1羽目	11月26日	69g	35日
2羽目	12月4日	70g	33日
3羽目	12月9日	68g	40日
4羽目	12月12日	88g	35日
5羽目	12月13日	75g	34日
6羽目	12月14日	76g	37日
7羽目	12月16日	76g	36日
8羽目	12月17日	55g	34日



■ヒゲペンギンの赤ちゃん

	誕生日	出生体重	孵化日数
1羽目	11月30日	85g	34日
2羽目	12月5日	68g	36日
3羽目	12月7日	75g	33日
4羽目	12月8日	65g	35日
5羽目	12月8日	74g	37日
6羽目	12月11日	77g	37日
7羽目	12月15日	87g	35日



■公開場所：海獣館2階 ■公開時間：開園～午後5時00分

※親鳥の体で赤ちゃんが見えにくい場合がございます。

※2種類とも性別は不明です。生後1年ごろ血液検査にて判別します。



【アドベンチャーワールド ペンギンプロジェクトについて】

アドベンチャーワールドでは、1978年の開園時にフンボルトペンギンとキタイワトビペンギンの飼育を開始し、1990年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、1997年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

アデリーペンギンは1996年、ヒゲペンギンは1999年に初めて繁殖に成功して以降、毎年繁殖に取り組み、たくさんの赤ちゃんが誕生しています。

【現在ご覧いただける7種類のペンギンの赤ちゃんたち】

今回誕生したアデリーペンギン、ヒゲペンギンの他、エンペラーペンギン、キングペンギン、キタイワトビペンギン、ジェンツーペンギン、ケープペンギンの赤ちゃんをご覧いただけます。

<p>エンペラーペンギン</p>  <p>海獣館 2階</p>	<p>キングペンギン</p>  <p>ペンギン王国 1階</p>	<p>キタイワトビペンギン</p>  <p>ペンギン王国 2階</p>
<p>ジェンツーペンギン</p>  <p>ペンギン王国 2階</p>	<p>ケープペンギン</p>  <p>アニマルランド横 ケープペンギン展示場</p>	

【アデリーペンギンについて】

- 分類：ペンギン目ペンギン科 ■学名：*Pygoscelis adeliae* ■英名：Adelie Penguin
- 生息地：南極 ■寿命：約20年
- 食性：アドベンチャーワールドではシシャモなどを与えています。
- 繁殖：岩場に小石などで巣を作り、2個の卵を生みます。抱卵はオス・メス交代で行います。
- 特徴：タキシードを着ているような模様をしており、目の周りの白い縁取りが特徴です。
体長：75cm 体重：4～6kg

【ヒゲペンギンについて】

- 分類：ペンギン目ペンギン科 ■学名：*Pygoscelis antarctica* ■英名：Chinstrap Penguin
- 生息地：南極大陸周辺 ■寿命：約20年
- 食性：アドベンチャーワールドではシシャモなどを与えています。
- 繁殖：岩場に小石などで巣を作り、2個の卵を産みます。抱卵はオス・メス交代で行います。
- 特徴：アゴのあたりにあるヒゲ状のラインが特徴で、アゴヒゲペンギンと呼ばれることもあります。
体長：75cm 体重：4～6kg